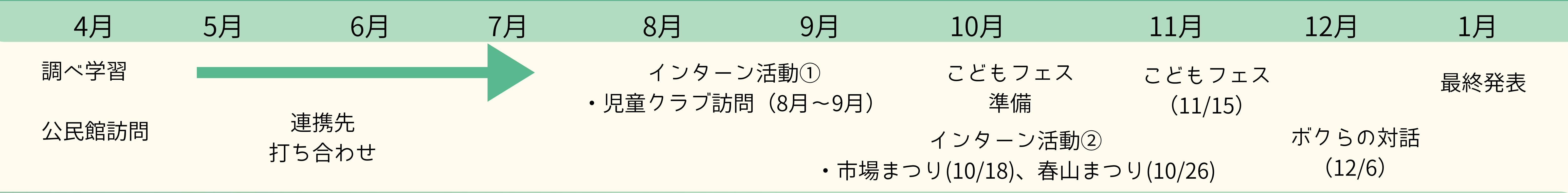


2年A班 子どもの声が届く社会へ

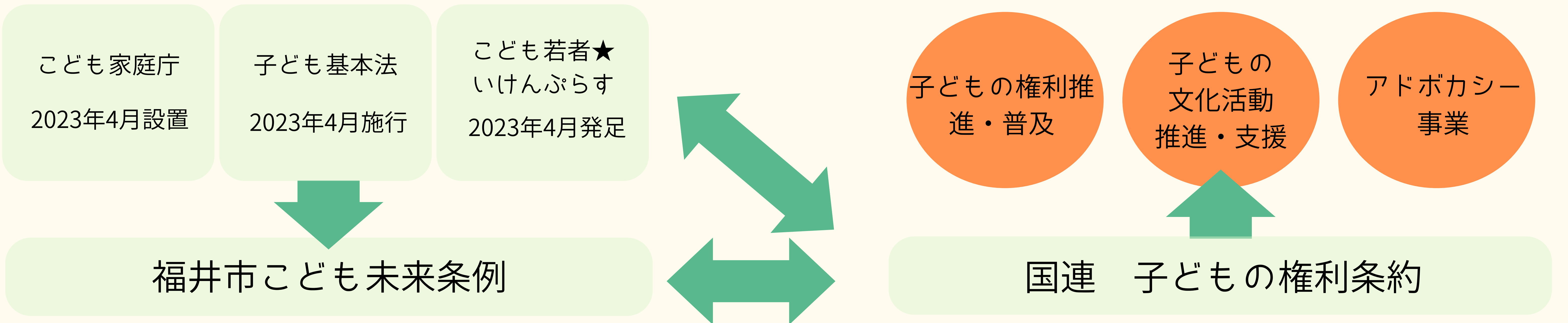
ー 意見表明を支える環境と場づくりー

連携先：認定NPO法人 福井県子どもNPOセンター
井龍凜 木村娃瑠 幸谷怜奈 酒井基弥 高野妃香 谷本風花



活動の背景

福井県子どもNPOセンター 主な事業



活動内容

インターン活動

【木田児童クラブ】

📍 木田児童クラブ
📅 8月8日, 20日, 21日
9月22日-26日

児童クラブで子どもたちと一緒に遊んだり学んだりして現代の子どもの様子を観察したり交流した

【市場まつり】

📍 中央市場
📅 10月18日(土)

子どもたちがお店を運営するのをそばで見守り、主体的な活動の支援をした

【春山まつり】

📍 春山公民館
📅 10月26日(日)

ポケモンサークルの小学生たちの屋台ブース運営を行った

「見守る関わり」が子どもの主体性を育てる

こどもフェス

📍 フェニックスプラザ 📅 11/15 (土)

【けんりにタッチ！】

子どもの権利条約かるたをのびのびハンドを使って行い、子どもの権利を学んでもらった

【みんなの声】

みんなの意見を集めて視覚的に楽しめるようにした

がっこう

- ・宿題なくなればいい
- ・テストなくしてほしい
- ・自由時間とかお楽しみ会がもっとあればいいのに

他10個

イベント

- ・きょうのたいこおもしろい
- ・かるたをいっぱい取りたい

【好きな札選び】

大事にしたいと思った札にシールを貼ってもらった

大人

おとなの方に刺さったかるた TOP 3

え：えらぶ自由子どもにだってある
ふ：不可能と決めつけないでほしいんだ
子どもが考えたこと
の：ノーって言うてもいいんだよいやなときは

すべて子どもの権利条約第12条のもの

子ども

子どもに刺さったかるた TOP 3

き：給食食べ終わるまで昼休みなかなしいよ
け：健康に自分らしく育つそれが子どもの権利だよ
れ：レゴもミニカーも女の子が遊んだっていいんだよ

子どもの権利条約 第2条、第3条、第24条

遊びを通して、権利に自然に触れてもらえる権利を知ってもらうきっかけづくりが重要

ボクらの対話

📍 福井県国際交流会館 📅 12/6 (土)

【午前の部】

「ゆるっとし対話」（対象：10代）
対話のテーマ：スマホはボクらを幸せにしてくれるの？
★ファシリテーターの補佐役として参加
・学年別、子ども3～4人とファシリテーター2～3人の少人数グループ

【午後の部】

「あの人にきき対話」「みんなにもきき対話」（対象：全員）
ゲスト：たかまつななさん
★トークセッション&ディスカッション
・対話に関して疑問に思っていることについて考える
・一日を通しての新たな気づきについて話し合う

安心できる雰囲気が意見を引き出すフラットな対話が新しい気づきを生む

ま と め

	インターン活動	こどもフェス	ボクらの対話
意識・目的	・子ども主体のイベントとそのやり方を学ぶ ・子どもとの関わり方を学ぶ ・公共事業を知る	・自分たちでイベントを企画・運営する ・子どもの権利の認知度について知る	・こどもの意見を聞きだす技術を学ぶ ・今までの学んだことを活かす実践の場 ・全国の実践者から技術を学ぶ
対象	NPOの活動	未就学児・小学校低学年・大人	小学校高学年・中高生・大人

課 題

権利の認知度の低さ	意見表明の機会の少なさ	対話の際の環境づくり
イベントでの保護者の反応と、調べ学習を通して、認知度の低さを実感	「もっと対話したい」という声からイベントが生まれていた	「どのような対話をしていきたいか」の質問に「安心」「思いやり」というキーワードが多く出ていた